

シンポジウム

読書バリアフリーと 学校司書の役割



日時

2023年

11月7日(火) 15:30～17:30

会場：衆議院第2議員会館 1F 多目的会議室

▶学校司書等に関する報告

笠 浩史氏（学校図書館議員連盟事務局長）

望月 禎氏（文部科学省総合教育政策局長）

▶シンポジウム

「読書バリアフリーと学校司書の役割」

パネリスト：

野口武悟氏（専修大学文学部教授）

生井恭子氏（東京都立鹿本学園司書教諭）

野口豊子氏（横浜市立盲特別支援学校 図書館運営員）

コーディネーター：

宇野和博氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

主催：文字・活字文化推進機構、全国学校図書館協議会、学校図書館整備推進会議

後援：学校図書館議員連盟

シンポジウム

「読書バリアフリーと学校司書の役割」

【プログラム】

- ◆学校司書等に関する報告／学校図書館議員連盟、文部科学省
- ◆シンポジウム「読書バリアフリーと学校司書の役割」

パネリスト

野口武悟氏（専修大学文学部教授）

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士課程修了、博士（図書館情報学）。専門は図書館情報学（主に、読書バリアフリー、子どもの読書活動、電子図書館等の研究）。主な著書に、『読書バリアフリーの世界 大活字本と電子書籍の普及と活用』（三和書籍）、『学びの環境をデザインする学校図書館マネジメント』（悠光堂）、『変化する社会とともに歩む学校図書館』（勉誠出版）など。

生井恭子氏（東京都立鹿本学園司書教諭）

東京都特別支援学校主任教諭。入都以来、肢体不自由教育の特別支援学校に勤務する。教員になる前は、葛飾区立公共図書館に勤務し児童・ヤングアダルトサービスを担当する。トライアスロンを趣味としている。

野口豊子氏（横浜市立盲特別支援学校 図書館運営員）

パソコン通信時代にネットでパソコン点訳を学び、点訳・点図・拡大図書製作のオンラインのボランティアグループ「点訳ねっとわ〜く麦」を立ち上げ、盲学校図書館とネット上の点訳グループを繋いで活動している。2011年から横浜市立盲特別支援学校図書館運営員として勤務。

コーディネーター

宇野和博氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

東京学芸大学教育学部卒業後、都内中学校教諭を経て現職。日本弱視者ネットワークの教育担当役員として、弱視者のための教育環境の改善に取り組む。拡大教科書の普及、著作権法改正や教科書バリアフリー法の制定、マラケシュ条約の国内批准、読書バリアフリー法制定など、長年、障害者の読書環境の整備に尽力。NHKラジオ「視覚障害ナビ・ラジオ」レギュラーコメンテーターも務める。